



## 病棟紹介⑥

# 5階東病棟 (循環器内科、心臓血管外科)

夜中に突然の胸の痛み。救急車を呼び、病院に到着。

採血、レントゲン、心電図、心臓超音波などなど、検査終了。

医師から「心筋梗塞です。心臓カテーテルをしましょう。」

そうです、私たちの病棟は・・・

■心筋梗塞や狭心症、不整脈、心不全等、心臓や血管に異常がある方、腎臓疾患で治療をしている方の「循環器内科」。

■最近新聞やテレビで報道される「冠動脈バイパス手術」をはじめ、大きな血管（大動脈瘤）から足の細い血管（下肢静脈瘤）まで対応している、「心臓血管外科」。

内科と外科の2科でひとつの病棟が構成されています。

循環器内科と心臓血管外科とが連携し、診断から治療（手術）まで同じ病棟で関わることができる、これが1番の特徴だと考えています。不安な思いを抱え入院した患者様にとって、入院病棟が変わること、関わるスタッフが変わることは、心配や不安が増すことにもなります。

手術のある方は手術後ICUで2～3日経過していただくこともありますが、入院から退院まで同病棟で看させていただくことで、安心して入院生活を送ることができると思います。胸の痛みを訴え来院してきた患者様が大きな手術を乗り越え、元気に退院していく姿を見ると私たちにも笑みがこぼれ、エネルギーをもらえたように感じます。



病棟1番の働き物を紹介したいと思います。5階でエレベーターを降りると必ずナースステーションの中から「ピ、ピ、ピ、ピコン、ピコン、ピコン」と音がします。何の音だと思いませんか？24時間365日20人の心電図を映し出し、見守ってくれている心電図モニターです。何か異常があればアラームが鳴り私たちに知らせてくれるので、すぐに患者様のもとへ駆けつけ、対応することができるのです。感謝！感謝！



私たち5階東病棟は、『患者様・家族の皆様には質の高い、安全で安楽な入院生活を提供する』ことを目標に、医師・看護師間の連携を密にし、患者様にとって一番良いことが実践できる病棟を目指します。



5階東病棟師長：山田 真実